

## 平成26年度複十字シール運動について

- 運動期間 平成26年8月1日から12月31日まで
- 募金目標額は全国で3億
- 複十字シール運動は、結核や肺がんなどの胸の病気をなくし健康で明るい社会を作ることがを目的とし、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、結核予防事業の活動資金を得るための複十字シールを媒体とした世界共通の募金活動。
- 募金をしていただいた方に、結核予防運動のシンボルである複十字章がデザインされたシールを渡し、手紙や包装の封印、ハガキ（年賀状・暑中見舞等）に使用してもらう。
  - ・デザイン：安野 光雅氏
  - ・シールは「日本の四季～子供たちの一年」をモチーフに制作
- 募金の使途予定
  - ・結核予防の教育広報費（結核予防全国大会、研修会、講習会、広報、結核予防週間事業等）
  - ・結核調査研究費
  - ・国際協力費（開発途上国への結核対策援助費）
  - ・結核検診車ならびに検診機器等の整備費
  - ・結核予防事業助成費（結核予防関係婦人会など）
  - ・後保護対策費（外国人相談窓口等）

稲用副知事を県健康増進婦人の会の谷口会長及び役員が表敬訪問しました。

7月30日（水）稲用副知事を県健康増進婦人の会の谷口会長及び役員が表敬訪問しました。当協会の堀野副理事長が募金活動の趣旨及び現状等を説明し、谷口会長が結核に対する意識が下がる中で、たくさんの命を守っていきたくと県に協力を呼びかけ、稲用副知事が根気よく地道に活動していくことが大事。県も全面的に協力するので一緒に運動を県民に伝え、結核対策の推進に取り組んでいきたいと思いますと温かいお言葉をいただいた。



福祉保健部日高次長  
からの激励



稲用副知事表敬訪問

